

## 【テーマ2】 給与制度改革をさらに推し進めるための取組みと研究・検討

◎これまで取り組んできた給与制度改革の推進 及び そのための研究・検討に取り組めます。

### めざす方向

(中長期の目標)

- ・「職員の給与等に関する報告及び勧告」における勧告・意見への反映

### 給与制度改革の推進及びそのための研究・検討

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H30.3月末時点）>
<p>●府の組織の実情を踏まえつつ、賃金センサスデータの活用などを通じて府内の民間給与を適切に把握し、職員給与に反映させるとともに、民間給与について多角的に分析・検討を進めます。</p> <p><b>（スケジュール）</b>                  29年5月：民間給与実態調査                            賃金センサスデータの提供依頼(厚生労働省)                  ～9月：賃金センサスデータ等の活用検討                  10月：勧告・意見の申し出、データ公表</p>	<p>▷</p> <p>◇活動指標（アウトプット）                  ・職員給与と民間給与の実態把握等                  ・勧告・意見の申し出、データ公表</p> <p>◇成果指標（アウトカム）                  （定性的な目標）                  ・給与制度について、地方公務員法等の趣旨を踏まえたより適切な制度となるよう取り組むとともに、わかりやすい公表を通じて、より府民理解が得られるようにします。</p>	<p>▶</p> <p>○職員給与と民間給与の実態を把握し、勧告の際にわかりやすく示しました。                  ○また、これまでの給与制度改革の結果、昇給カーブのフラット化が進んでいることを、賃金センサスのデータ等に基づき示しました。                  ○こうした状況も参考にしつつ、本年の勧告では、本府職員の採用環境が厳しい状況に鑑み、有為な人材の確保の観点から、初任給及び若年層の給料月額を上げる勧告を行いました。</p>

自己評価

達成

### 【部局長コメント（総評）】

<取組状況の点検>	<今後の取組みの方向性>
<p>■「給与制度改革の推進及びそのための研究・検討」</p> <p>職員給与について、民間給与を適切に反映した給与改定を勧告しました。                  ○賃金センサスデータの活用などを通じて府内の民間給与を適切に把握するとともに、民間給与について多角的に分析・検討を進め、その状況を勘案して、給料表の改定を勧告しました。</p>	<p>■「給与制度改革の推進及びそのための研究・検討」</p> <p>○平成30年度においても、府内の民間給与を適切に把握するとともに、引き続き、民間給与について多角的に分析・検討を行い、職員給与に反映させる取組みを行います。</p>